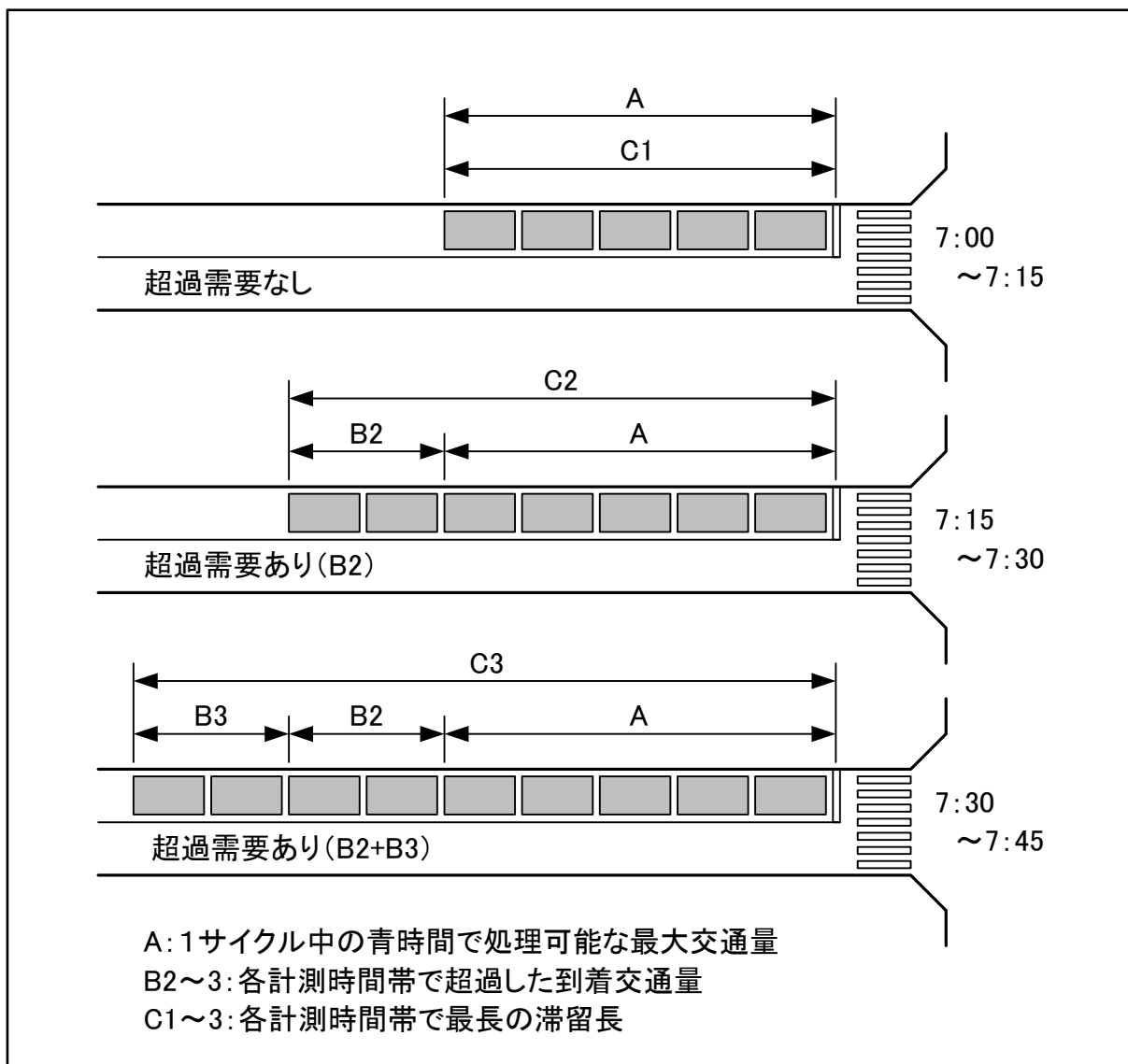


Q5: 渋滞長計算の入力に必要な末尾位置データがない。

A5: ここではお手元のデータが、集計単位毎の流出交通量と最大滞留長のみの場合についての入力方法を説明いたします。但し、このケースで計算可能なのは需要交通量のみで、成果物としてのグラフや状況図は正確なものを作成することはできません。

■ 入力例と考え方



■ 信号時間検討システム「APS-λ Win」

		末尾位置データあり			末尾位置データなし		
		滞留長 (m)	待ち行列台数		滞留長 (m)	待ち行列台数	
			末尾位置(m)	換算台数		末尾位置(m)	換算台数
7:00 ~ 7:15	大型車						
	その他	C1	0	41	C1	C1	41
	計						
7:15 ~ 7:30	大型車						
	その他	C2	B2	50	C2	C2	50
	計						
7:30 ~ 7:45	大型車						
	その他	C3	B2+B3	86	C3	C3	86
	計						

末尾位置には滞留長を設定します。

末尾位置データあり	流入部名: ①第1流入部 調査開始時の待ち行列末尾位置 <input type="text" value="0"/> m
末尾位置データなし	流入部名: ①第1流入部 調査開始時の待ち行列末尾位置 <input type="text" value="C1"/> m <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 末尾位置には初めの時間帯の滞留長を設定します。 </div>

到着交通量は、前の時間帯との末尾位置の差から算出した台数を、流出交通量に加算して求めています。7:30~7:45の時間帯で考えた場合、 $(B2+B3)-B2=C3-C2$ となるので、需要交通量のみを求める場合には、滞留長のみを用いても問題ありません。